



日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.1.13 No.720

九八年 団結旗開き 盛大に開催！

(二ノ一〇)
労働者福祉センター

動労千葉は、一月一〇日、千葉県労働者福祉センターにおいて、「九八年団結旗開き」を開催した。団結旗開きは、組合員・家族、来賓、支援の労働者・学生など一八〇名が結集して熱気あふれる中で行なわれ、激動の九八年にふさわしい旗開きとなった。

旗開きは、布施副委員長の開会あいさつで始められ、山田執行委員の司会で進められた。

まず、中野委員長から年頭のあいさつが行なわれ、二八名の解雇撤回の勝利を確認するとともに、九七年末の一〇四七名をめぐる動向など、正念場を迎えた国鉄闘争の勝利に向けて九八年を組織の全力を挙げて闘いぬくことを訴えた。(要旨は次号に掲載予定)

来賓のあいさつでは、全日通千葉支部・岡野委員長、全電通千葉支部・床枝委員長、千葉県水道労組・半沢委員長、三里塚反対同盟・北原事務局長、全労済・坂口理事長、動労千葉顧問弁護団・葉山弁護団長から激励と連帯のあいさつが行なわれた。

中野委員長、佐藤家族会会長による鏡開きが行なわれた後も、動労千葉家族会・佐藤会長、顧問弁護団・菅野弁護士、一瀬弁護士、動労水戸・辻川委員長、足立成田市議、結柴杉並区議、障福労・佐藤委員長、婦人民主クラブ全国協議会、全国沖縄青年委員会・新城委員長、動労千葉議員団から中江船橋市議、水



▶中野委員長 佐藤 族会会長による鏡開き

野勝浦市議があいさつを行なった。

続いて各支部決意表明にうつり、貨物支部代表として千葉機関区支部・的場支部長は「貨物格差を許さず、新フレイト二一粉砕へ闘う」と語り、旅客を代表して津田沼支部・相馬支部長は「組織拡大―強制配転粉砕へ闘いぬく」と決意を明らかにした。

そして、動労千葉争議団の発言では、第一波・第二波ストの解雇撤回をかちとった当該を代

1047名闘争の勝利へ!

— 98年弁護団総会開催 (1/9) —

一月九日、一三時から、千葉市・ホテルサンシティにおいて、九八年動労千葉弁護団総会を開催し、国鉄労働運動史上でも画期的な勝利となった二八名の公労法解雇全面解雇撤回の意義を確認するとともに、清算事業団一〇四七名―動労千葉一二名の解雇撤回に向けて全力で法廷闘争を強化するとともに、JRから不当労働行為を一掃するために労働委員会闘争―裁判闘

争―職場生産点の闘いを結合して闘いぬくことが確認された。二八名の勝利は動労千葉の団結力を示した―葉山弁護団長あいさつ―

弁護団総会の冒頭、中野委員長から「当面、一〇四七名問題に全力を傾けるとともに、十一年間不当配転され続けている仲間を原職に取り戻す闘い、そして第三次安保・沖縄闘争に全力をあげる」と動労千葉の年頭のあいさつを行なった。

動労千葉顧問弁護団の葉山弁護団長からは「一波・二波ストの基本路線を明確にして闘いぬく中で二八名の解雇撤回が勝ちとられたことは画期的なこと。動労千葉の団結の強さを示すものとなった」と訴えた。

この後、各弁護士から忌憚のない意見が出され、九八年を弁護団総会は成功裡に終了した。

表して館山支部・笹生支部長が解雇撤回のお礼と今後の闘う決意を述べた。そして決意表明の最後は清算事業団闘争を闘う高石君から「今年こそ清算事業団闘争を勝利するために全ての組合員の協力を」と力強い訴えが行なわれ、会場からも万雷の拍手がまき起こった。

恒例のカラオケ大会では普段鍛えたノドが披露され、最後にお年玉抽選会を行い、関青年部長のインターナショナル斉唱、田中書記長の団結ガンバロー三唱で団結旗開きを終了した。

▼めい、てうれしい「お年玉抽選会」

